

個 別 の 人 権 課 題			北朝鮮当局による拉致問題等		
校 種	高等学校	本 時 に 関 わ る 3 つ の 側 面	知 識 的 側 面	◎	
対 象 学 年 等	第3学年		価 値 的 ・ 態 度 的 側 面		
教 科 等	政治・経済		技 能 的 側 面	○	
単 元 名	現代の国際政治				

## 1 単元の目標及び計画

### (1) 単元の目標

- ア 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。
- イ 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察し、表現する。
- ウ 現代の国際政治・経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。

### (2) 単元の計画

- 1 次・・・国際社会の特質と国際法や国際機構の役割
- 2 次・・・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割（本時）

## 2 学習指導要領等の該当箇所

高等学校学習指導要領・第2章・第3節公民・第2款・第3政治・経済

### 2 内容 B グローバル化する国際社会の諸課題

#### (1) 現代の国際政治・経済

国際平和と人類の福祉に寄与しようとする自覚を深めることに向けて、個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事情を通して理解を深めること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。

## 3 本時の目標

資料から現代の社会的事象に関する情報を調べまとめる活動を通して、現在の日本が抱える外交問題とその解決の考え方について理解を深める。

## 4 人権教育との関わり

この単元では、国際社会における日本の役割について学習する中で、個別の人権課題である「北朝鮮当局による拉致問題等」に関連する内容を取り扱います。具体的には、現在の日本が抱える外交問題には北朝鮮当局による拉致問題をはじめとする様々な問題があり、それらについての正しい知識を身に付けるとともに、日本はそれらの課題を解決するために、人権の尊重や法の支配、民主的な手続きなど人類共通の普遍的価値を大切にしながら、平和的な解決に向けて努力していることについて理解を深めることを大切にしています。

## 5 本時で育てたい3つの側面

知 識 的 側 面	人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識 憲法や関係する国内法及び「世界人権宣言」その他の人権関連の主要な条約や法令等に関する知識
技 能 的 側 面	他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性

## 6 本時の学習過程

学習過程等	人権教育との関わり等	資料等
<p>【課題】現在の日本の外交にはどのような課題があり、政府はそれらの課題をどのように解決しようとしているのだろう。</p> <p>■学習活動（グループ）</p> <p>【各グループに分かれて、日本が抱える外交問題を一つ選び、具体的な内容を調べよう。】</p> <p>（例）北方領土問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北方領土問題とは日本とロシアとの間で未解決となっている領土問題である。</li> <li>・1945 年、ソ連は当時まだ有効であった日ソ中立条約に違反して対日参戦し、日本がポツダム宣言を受諾した後、北方四島のすべてを占領し、居住していた日本人を退去させた。</li> <li>・現在まで旧ソ連・ロシアによる不法占拠が続いており、ロシアとの間には未だに平和条約が締結されていない。</li> </ul> <p>（例）竹島問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹島問題とは日本と韓国との間で未解決となっている領土問題である。</li> <li>・サンフランシスコ平和条約により竹島が日本の領土であることが確認されているにもかかわらず、韓国は不法占拠を続けている。</li> <li>・竹島問題を平和的に解決するために、日本はこれまで3回にわたって国際司法裁判所に付託することを提案したが、韓国は全て拒否してきた。</li> <li>・どちらの領土問題についても、日本は平和的な手段による解決に向けて努力している。</li> <li>・尖閣諸島は日本固有の領土であり、領土問題は存在しない。</li> </ul> <p>（例）北朝鮮による日本人拉致問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北朝鮮には、日本人拉致問題、飛翔体発射問題、核開発問題などの様々な問題があり、日本と北朝鮮とは未だに国交がない。</li> <li>・日本人拉致問題とは、1970～80 年代にかけて北朝鮮が多くの日本人を拉致した問題で、政府が認定した拉致被害者は現在 17 名である。</li> <li>・2002 年の金正日と小泉総理との会談で、北朝鮮は初めて拉致を認め、謝罪し、5 名の日本への帰国が実現したが、その5 名以外の帰国は実現できていない。</li> <li>・日本は国際社会と連携し、各国からの支持と協力を得ながら解決に向けて北朝鮮に働きかけている。</li> </ul> <p>■学習活動</p> <p>【各グループで調べた内容を発表しよう。】</p> <p>【日本の外交問題とその解決に向けた政府の取組にはどのような共通点があるか考えよう。】</p>	<p>【知識的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権の発展、人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識</li> </ul> <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料やDVD等を用いて拉致問題についての正しい知識を身に付けさせるとともに、許されない一方的な人権侵害であることを確認する。</li> </ul> <p>【技能的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性</li> </ul> <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 p 19 にある「拉致された 13 歳の少女横田めぐみさん」を読み、拉致被害者とその家族が強いられてきた過酷な生活の実態や苦しみを想像させる。</li> </ul>	<p>○外務省HP「北方領土」</p> <p>○外務省HP「竹島」</p> <p>○資料「北朝鮮による日本人拉致問題」（政府拉致問題対策本部）</p> <p>○資料「アニメ『めぐみ』」</p>
<p>【まとめ】日本の外交問題には、人権の侵害や国際法違反などの問題が含まれていることが共通しており、日本政府はどの外交問題に対しても、人権の尊重、法の支配、民主的な手続きなどの人類共通の普遍的な価値を踏まえた平和的な解決策を進めている。</p>		